

今村了庵

いむら

儒醫。

文化十一年七月十五日上野國伊勢崎生れ、明

治二十三年一月十三日歿（八四—九〇）。講亮、字祇卿、幼名五十一。

號凌昇逸史、復庵。祖父は山縣大貳。十七歳で江戸へ赴き、佐藤一齋

の儒學を、多紀元堅に就て醫學を修め、外科を垂國津平に學ぶ。安政

五年伊勢崎侯の侍醫となり、のち醫學館講師。明治二年皇漢醫道御用

掛、十一年脚氣病院醫員。翌五年 はらのみや 明宮（大正天皇）の侍醫と任命。十

五年には東京大學總理加藤弘之の依頼で醫學部講師となり、翌春より

「日本醫道沿革考」を講じた。

著書に、『西醫指要』（明治十年勿誤約室藏）、『了庵臚稿』全二冊（明

治十四年八月二十日敬業館）等の他、『山縣大貳傳』（明治二十年五

月敬業館）を著はし、長男芳雄の子昌藏を以て祖父の姓を復せしめた。